

# ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

## No. 21

今回は、「図書室にあるはずの資料なのに（前回来館したときに読んだ等）検索しても出てこない」といった声にお答えして、検索方法について少しふれてみたいと思います。

### ◆ 統一読み表記について

例えば、「私」のヨミには、「わたくし」と「わたし」とがありますが、当館では、「わたくし」に統一されています。このため、「わたし」で検索しても書名に「私」が含まれる資料は検索されません。

★ 他にもいくつかの読み方が考えられる場合は、漢字での検索をお勧めします。

### ◆ 旧漢字について

常用漢字表および人名漢字表に含まれる漢字については、旧字体を新字体に置き換えている場合があります。

(例) 國 → 国  
亞 → 亜  
學 → 学

「聯」「洲」等の書きかえ字は、そのままになっています。

(例) 「満洲」と「満州」  
「連隊」と「聯隊」

★ こういった場合の検索は、ひらがなでの検索をお勧めします。

### ◆ 書名に数字が含まれる資料を検索する場合

(例) 「二・二六事件」

表記が「2・26」「二・二六」の場合があるので、  
「ににろく」とひらがなで検索することをお勧めします。

(例) 部隊史の場合

例えば、「四十二連隊」といった場合は、「42」「四十二」「四二」等と数通りの表記があるため、「しじゅうにれんたい」とひらがなで検索することをお勧めします。

操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・ ⑱

さて、今回は蔵書印を覗いて見てみます。蔵書印はご存じのように本の所有を示す印で、個人の場合もありますが、図書館などの場合が多いものです。多くは単に「〇〇図書館蔵書」とか「〇〇氏蔵書」などと、名前だけの簡単なものが多いのですが、中にはずいぶん凝ったものもあります。

昭和館にもずいぶん古い本があるので色々な蔵書印が見られます。変わったものでは、「長崎東衛官許」の印があるものがあります。これは江戸幕府の輸入許可印で、蔵書印ではありませんが、輸入図書の面から見た近代日本の西洋文化導入の様子が窺える印です。

個人の印の中には、趣味的な印を押す人があり、眺めていて飽きません。こんな蔵書印を集めた「日本蔵書印考」（昭和18年、小野則秋）を見てみると、本好きの情熱が伝わります。内田魯庵の猫の印などはいつ見ても洒落たデザインに感心します。

こんな趣味的な印の他に、「子々孫々に至るも持ち出し売り払うを厳禁す」なんていう心配性の持ち主を思わせる印もありますが、筆者は、これを古本屋で買いました！！。だれが売り払ったのでしょうか？。筆者が古本屋で買った中で、一番の珍品（印）は、「内務省永久保存本」という印のある本です。戦前の納本制度で、内務省に納本された本だったわけですね。無論内務省はもうありません。この印を見ていて、永久という言葉のはかなさに、思わず涙が出そうでした。…ホント。

ちなみに筆者は、気に入った本に小さな印を押しています。これは筆者の自宅のささやかな書庫の名前で「午睡楼」ゴスイロウ、つまり（昼寝の部屋）ほどの意味です。

この手の話しも終わらないので、今回はつづいて蔵書票の事を少し書きます。

（午睡）

-----

— 図書室から —

暖かいような、寒いような…移ろいやすい季節です。あたり一面桜景色となるのはもうすぐ、昭和館も2周年を迎えます。

\*新着雑誌、新聞縮刷版（昨年分）を別置しました。

新着雑誌棚にある雑誌及び新聞縮刷版の昨年分は、書庫に納めました。ご利用になりたい方は、カウンターにお申しつけください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 21  
2001年3月15日 発行  
編集・発行 昭和館 図書室  
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1